

## ④橋本増治郎 ☆小学校四年 一学期実施

主題 立ち向かう心 A(5) 希望と勇氣、努力と強い意志

### 一 醸成したいおかざきの心

日本初の国産自動車をつくり上げた岡崎の先人に学ぶ、目標に向かつて強い意志をもち、粘り強くやり抜く心

### 二 教材 「国産自動車の父」

『明るくい心四年』（愛知県教育振興会）参照

増治郎は、子供の頃から勉学に励み、工業学校進学のため単身上京しました。二十七才のとき、アメリカを視察し、多くの自動車を目にする、日本初の国産自動車づくりを決意します。石炭会社に勤める傍ら、自動車の研究を続け、会社を設立しました。部品の入手や資金繰りに苦労しながらも、さらなる研究を続け、遂に日本初の国産自動車を完成させました。

### 三 本時のねらい

橋本増治郎の生き方を通して、希望と勇氣、努力と強い意志について考えさせ、目標に向かつて粘り強くやり遂げようとす  
る判断力や心情を育てる。

### 四 発問例

発問①「石炭会社の仕事をしながら、毎日自動車の研究をするとき増治郎はどんな気持ちだったでしょう。」

・自分の手で国産自動車をつくりたい ・自分の夢に向かつて頑張ろう

発問②「何度も自動車をつくり続けてはエンジンが動かないという  
毎日を、増治郎はどんな思いで過ごしただろう。」（中心）

・自分の手で部品からつくるのは苦しい ・もう駄目かもしれない  
・長年の夢を何としてもかなえるぞ ・部品を一つ一つ勉強して頑張ろう

補助発問「なぜ、家のちよ金をおろしてでも、自動車をつくり続け  
ていくことができたのでしょうか。」

・ずっと前からの自分の夢だったから ・もう少しできそうだったから  
・工員たちの協力や家族の理解があったから

発問③「DAT号が完成したとき、増治郎はどんな気持ちだったで  
しょう。」

・やっと完成してうれしい ・途中であきらめなくて本当によかった  
・最後まで工員たちや家族の支えの中、自分を信じて挑戦し続けてよかった

（自覚）「増治郎さんのように、目標に向かつて努力を続けていく  
ために、自分にとって大切なことは何でしょう。」

・小さくても、今の自分にふさわしい目標を立てて具体的に行動すること  
・自分ならできると信じ、今できることをコツコツと積み重ねていくこと